



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎
(札幌西RC)

2023年の幕開けです。新年明けましておめでとうございます。という筆をとっているのは師走の最中です。11月の最大のイベントは、神戸で開催されたロータリー研究会です。2020年は中止、2021年はRI会長がZoomで参加ということで、3年ぶりにRI会長とロータリー財団の会長が揃って参加されました。松浦ガバナーエレクトからの報告があると思いますが。同期のガバナーの皆さんとの時間は実に楽しいものでした。

12月に入り、財団奨学生の面接も行いました。財団に応募して来られる方で特にグローバル補助金の奨学金への応募はとてレベルが高く、学業と実務の両方をこなし更なる勉強への意欲を持つという素晴らしい方々ばかりで、とても刺激を受けました。海外経験が無くとも非常に高い成績を語学で取られる努力には頭が下がりました。

また米山奨学生の選考にも参加して、面接を行いました。しかし採用できる人数に限りがあり、選考するという事は奨学金を出せない応募者を作ると考えると、とても厳しいものがあります。成績が優秀というだけでは米山奨学生の資格はなく、日本と母国の親善大使として果たす役割を認識してロータリーへの理解を求めますので、一筋縄ではいきません。

日本語のあまりできない学生も居て、選考を終えると結構疲労感が残りました。しかし、ゆっくりとしているわけにもいかず、面接が終わると、全員で選考会を行い、面接の採点と地域性、学校の広がり等々を勘案して予定していた13名の奨学生と2名の補欠を決めました。



この間、地区の諮問委員会と松浦ガバナーエレクトの壮行会を開催しました。諮問委員会では懸案でありました、地区危機管理基金の設置について同意を頂き、今後会長・幹事会での提案をさせて頂くこととなりました。また地区の状況報告等をさせて頂き、伊藤元RI理事（PG）より温かな励ましの言葉を賜り感激の極みでありました。

ガバナーエレクトの壮行会はようやくコロナ禍への対応も進み、松浦GEには初めてのオーランド体験をしていただくということで大いに盛り上がりました。

12月の最後のイベントは大阪第2660地区の地区大会で、大坂ロータリークラブの創立100周年のお祝いも兼ねてということで、34地区のうち24地区のガバナーが集まるというビッグイベントでした。

12月16日は開会式に続いて、千玄室元RI理事の講演を聞くことが出来ました。99歳で75分間立ったままでの講演には内容もさることながらその姿勢には頭が下がりました。

晩餐会ではガバナー自らがダンシングチームに入り軽快なダンスを披露して大喝采を受けて居りました。



翌日は友愛の広場を設けて、インターアクト、ローターアクト、ローテックス、米山、交換留学生など若い人たちが集う場所設けて大変な賑わいでした。当地区でも今後地区大会でこのような形の若い人たちが集える場を設けることが出来たら素敵だと感じました。記念講演会は慶應義塾大学の宮田教授のお話でしたが、その後若い人たちとのパネルディスカッションを行い若い人へのアドバイスでしたが、新鮮な感じで素敵な企画だと思いました。

全てが終わり、残った同期ガバナーで第2660地区宮里ガバナーを囲んでの打ち上げ会は大阪ならではの心遣いで本当に心温まるものでした。感謝